

回覧

地域再生 協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

地区内子ども会が連携

「ゲンコミ」に子ども会部会を新設へ

新設の元気なコミュニティ協議会(ゲンコミ)を舞台に、百合が丘子ども会、一色・緑が丘子ども育成会が連携して活動する見通しになった。両会は新年度から地元での活動と並行して新たな協働活動の推進について合意した。ゲンコミは「子ども部会」を設けてこれらを支援する。また、ゲンコミが中心になって子ども会の古紙回収事業を一色・緑が丘にも広げることで一致した。

協議会が加わった3者の合意は、①従来の独自活動のほか、一色小学校区をベースにした連携・一体化活動を検討・推進する ②ゲンコミは子ども部会を新設し、連携・協力による相乗効果発揮を後押しする ③百合が丘子ども会はゲンコミのもとで活動。一色・緑が丘育成会は現体制を続けるが、連携・協力、協働活動について検討し、利点を確認できるものから具体化していく。

3者は今後、両地域の行事・イベントの相互乗り入れ、行事の一体化検討(新入生歓迎会、6年生を送る会など)、新規の協働行事・大型イベントの検討、活動支援者・グループの掘り起こし、役員負担軽減策の検討(SNS活用、役員・役割分担の見直し)などを検討する。今年5月の1年生歓迎会は合同開催することにした。

地区内の子ども会は会員数の減少に直面。百合が丘は10人前後、一色・緑が丘も30人台にとどまっている。



コロナ感染対応もあって活動は停滞し、両者とも上部団体の子育連からの脱会を決めたほど。百合が丘子ども会が長い間手がけてきた古紙回収事業は、ゲンコミが調整役になって一色、緑が丘へ拡大する。新規スタートは5、6月頃を予定。

250人入場・大盛況の音楽祭

2月12日(土)のやまゆり里山音楽祭は大盛況のうちに閉幕した。「ラディアン開館20周年」を記念し、県住宅供給公社の協賛を得て主催する今年度最大のイベントだったが、入場者は想定以上の250人に達した。「久しぶりに音楽を楽しめた」「合唱団の発表がとても良かった」などの声が上がっていた。音楽活動部会は昨年11月から練習を再開。併せて延期になっていた音楽祭の準備をしてきた。神経を使ったのはコロナ対策で、舞台上の人数構成、入場者の把握、安全対策は最後まで時間をかけた。新年度は合唱団を再編成し、秋ごろをめどに2度目の開催を検討中。